

平成 20 年度第 2 次補正予算（追加経済対策） 「森林起源二酸化炭素排出削減・吸収量認証推進事業」について

平成 20 年度第 2 次補正予算において、「森林起源二酸化炭素排出削減・吸収量認証推進事業」として森林や未利用の林地残材（間伐材）等によるオフセット・クレジット（J-VER）を創出する林業関係者等への申請支援、地方開催を行うなどのカーボン・オフセットを一層推進するための予算 120 百万円が計上された（環境省全体の平成 20 年度第 2 次補正予算計上額は、10,016 百万円。）。

森林管理を担う林業関係者や森林で発生する未利用の林地残材（間伐材）をボイラー燃料として活用する地場産業関係者等による、オフセット・クレジット（J-VER）制度を活用した J-VER 創出を促進するため、J-VER 制度を活用する先進事例については、その申請等に係る費用を軽減する。J-VER の創出・流通を促進することで、企業や自治体等がカーボン・オフセットを行う際の資金が国内の林業関係者や地場産業関係者等に還流し、地球温暖化対策とともに地域経済の活性化にも資すると期待される。

（「森林起源二酸化炭素排出削減・吸収量認証推進事業」の主な内容）

① 林業関係者等へのオフセット・クレジット制度の普及啓発とプロジェクト発掘

関係省庁と協力しつつ、林業関係者等を対象として地方説明会（2009 年 4 月後半を予定）を全国 10 か所程度開催し、制度の概要、有効性、申請手順等について周知し、申請案件を早急に発掘する。このほか、広報のための優良事例集の作成、パンフレット等の作成、マスメディアの活用、ウェブサイト上でのクレジット創出情報の提供等を行う。これらにより、林業関係者等の制度活用を加速化する。

② オフセット・クレジット制度を活用する先進事例の支援

申請書作成作業の負担軽減を図る観点から、制度開始後一定数の林業関係者や地場産業関係者等に対して申請書作成等の支援を行う。また、制度開始段階では検証機関の検証方法が慎重となり費用が高額とならざるを得ないため、検証費用の負担軽減を図る観点から、検証費用の一部を支援することにより早期登録を促す。さらに、検証費用の早期軽減を図るため、モニタリング方法ガイドライン及び検証ガイドラインを整備する。